

---

# 都民意見アンケート

---

# 都民意見アンケート

## アンケートの概要

都民の皆様の関心・期待の高い項目や意識の変化を把握し、政策を強化するため、アンケート調査を実施いたしました。ご回答いただいたアンケートの結果につきましては、「『未来の東京』戦略」バージョンアップの参考とさせていただきます。また、今後の検討などに活用させていただきます。

### LINE公式アカウントアンケート



#### < 調査概要 >

調査対象：18歳以上の都内在住・在勤・在学の方

調査期間：2023年10月31日(火)～11月2日(木)

調査方法：東京都LINE公式アカウントから実施

回答者数：10,504人

調査内容：全6問

- 問1 属性（性別、年代）
- 問2 「未来の東京」に向けて重要だと思う取組
- 問3 いま、特に期待する迅速な課題
- 問4 「未来の東京」戦略の認知経路
- 問5 SDGsで興味・関心のある目標
- 問6 コロナ前後の生活の変化について

アンケートの集計結果 ⇒ 次ページから

### 子ども都庁モニター



#### < 調査概要 >

調査対象：子ども都庁モニターに登録している小学生～高校生

調査期間：2023年10月17日(火)～10月26日(木)

調査方法：WEBアンケートにより実施

回答者数：691人

調査内容：全4問

- 問1 「未来の東京」に向けて重要だと思う取組
- 問2 「未来の東京」に向けた具体的な取組内容
- 問3 SDGsで興味・関心のある目標
- 問4 2040年の東京がどのような街になっていたらよいか

※上記は、「子ども都庁モニター(1,200人)」第3回アンケートのテーマの1つとして実施

アンケートの集計結果 ⇒ [子ども都庁モニター  
令和5年度第3回  
アンケート結果](#)

※表中の割合は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

# 都民意見アンケート

## アンケート結果

Q1. あなたのご年齢と性別について教えてください。

### 【年齢】

選択肢	回答数	割合
18歳・19歳	46	0.4%
20代	429	4.1%
30代	1,176	11.2%
40代	2,208	21.1%
50代	3,359	32.0%
60代	2,292	21.9%
70代	810	7.7%
80代以上	104	1.0%
答えたくない	62	0.6%

N = 10,486

### 【性別】

選択肢	回答数	割合
男性	3,376	32.2%
女性	7,048	67.2%
答えたくない	62	0.6%

N = 10,486

過去に実施した「都民意見アンケート」の結果については、こちらをご参照ください

【2021年度実施結果】

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/seisakukikaku/tominiken2022>

【2022年度実施結果】

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/seisakukikaku/tominiken2023>

## 都民意見アンケート

Q2. 東京都では、成長と成熟が両立した明るい「未来の東京」に向けた取組を推進しています。「未来の東京」に向けて、どの取組が重要だと思いますか（3つまで選択可）

選択肢	回答数	割合
子供が笑顔で子育てが楽しいと思えるまちづくり	4,356	41.5%
子供の伸びる・育つへのサポート	2,817	26.9%
女性の活躍推進	1,395	13.3%
高齢者が元気に活躍できる長寿社会の実現	2,736	26.1%
誰もが輝く働き方の実現	2,344	22.3%
様々な人が共に暮らし、多様性に富んだまちづくり	2,266	21.6%
新たなつながりによる地域の活性化	888	8.5%
地震、風水害や感染症などに強い安全・安心なまちづくり	4,753	45.3%
高度な都市機能の維持・更新	996	9.5%
デジタルの力による生活の質の向上	1,207	11.5%
新しい産業の力による社会課題の解決	664	6.3%
世界経済を牽引する高い生産性の実現	944	9.0%
水と緑が溢れるまちづくり	1,982	18.9%
気候危機に立ち向かう行動の加速	1,531	14.6%
世界を惹きつける観光・文化施策	816	7.8%
スポーツが日常に溶け込んだまちづくり	471	4.5%

N = 10,491

Q3. 社会状況が日々変化する中、あなたが、東京都に対して「いま、特に迅速な対応が必要な課題」と思う事項を選んでください。（3つまで選択可）

選択肢	回答数	割合
人口減少・少子化	4,414	42.1%
日本の経済競争力の低下	3,988	38.0%
風水害や首都直下地震など自然災害の脅威	3,513	33.5%
緑の創出・保全	802	7.6%
新型コロナなどの感染症対応	524	5.0%
将来を担う子供への投資	2,450	23.4%
スタートアップ育成・起業家支援	347	3.3%
女性が活躍できる環境	729	6.9%
結婚・出産・子育てを望む人への支援	1,791	17.1%
仕事と育児・介護との両立	2,460	23.4%
高齢者がいきいきと活躍できる環境	1,586	15.1%
2024年問題（労働時間上限規制）	706	6.7%
エネルギー自給率の低さ・再エネや水素エネルギーの導入	1,423	13.6%
孤独・孤立対策	1,272	12.1%
日本人の英語能力	859	8.2%
貯蓄から投資への移行の促進	316	3.0%
渋滞解消や鉄道網、物流などのインフラ整備	541	5.2%
芸術文化やスポーツを楽しむことができる環境づくり	605	5.8%
特殊詐欺等、犯罪の巧妙化・凶悪化	1,287	12.3%
その他	533	5.1%

N = 10,492

# 都民意見アンケート

Q4. あなたは、何を見て『未来の東京』戦略を知りましたか。  
(複数選択可)

選択肢	回答数	割合
東京都公式ホームページ	1,331	12.7%
広報東京都 (WEB版も含む)	745	7.1%
東京都主催のイベント	95	0.9%
デジタルポータルサイト「My TOKYO」	186	1.8%
東京都公式動画チャンネル「東京動画」	65	0.6%
東京都公式LINE	6,086	58.0%
東京都公式X (旧Twitter)	67	0.6%
東京都公式YouTube	81	0.8%
東京都公式Facebook	28	0.3%
街頭や電車の広告	102	1.0%
ウェブ広告	108	1.0%
新聞や雑誌の記事	152	1.4%
今回のアンケートで初めて知った	2,749	26.2%
その他	22	0.2%

N = 10,491

Q5. SDGs※の17の目標のうち、最も興味・関心があるのはどの目標ですか (3つまで選択可)

※2015年9月25日に国連総会 (持続可能な開発サミット) で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標

選択肢	回答数	割合
目標1・ 貧困をなくそう	2,489	23.7%
目標2・ 飢餓をゼロに	1,223	11.7%
目標3・ すべての人に健康と福祉を	3,655	34.8%
目標4・ 質の高い教育をみんなに	2,152	20.5%
目標5・ ジェンダー平等を実現しよう	1,123	10.7%
目標6・ 安全な水とトイレを世界中に	1,377	13.1%
目標7・ エネルギーをみんなに そしてクリーンに	1,381	13.2%
目標8・ 働きがいも 経済成長も	2,341	22.3%
目標9・ 産業と技術革新の基盤をつくろう	702	6.7%
目標10・ 人や国の不平等をなくそう	1,436	13.7%
目標11・ 住み続けられるまちづくりを	2,257	21.5%
目標12・ つくる責任 つかう責任	1,088	10.4%
目標13・ 気候変動に具体的な対策を	2,801	26.7%
目標14・ 海の豊かさを守ろう	1,027	9.8%
目標15・ 陸の豊かさを守ろう	489	4.7%
目標16・ 平和と公平をすべての人に	2,455	23.4%
目標17・ パートナリシップで目標を達成しよう	180	1.7%
いずれも興味・関心がない又は知らない	241	2.3%

N = 10,497

## 都民意見アンケート

Q6.ポストコロナの転換点を迎えた今、コロナ前（令和元年頃）と比較し、日々の生活に変化を感じることをご自由にご記入ください。（自由記述）

（5,399人の自由記述のうち、回答が多かったキーワードに関する意見を抜粋。）

### 働き方に関すること

#### 【テレワーク】

- テレワークが進んで助かりました。（20代・女性）
- テレワークやハイブリッドワークが増え、働き方が変わった。（40代・女性）
- テレワークやコロナ禍で新たな動きがあったのに結局元に戻ってる。もっと自由に柔軟な働き方やデジタルの活用を進めるべきです。（40代・男性）

#### 【育児・子育て】

- テレワークができるので、保育園の送迎がしやすくなった（20代・女性）
- テレワークが可能になり働きながらの育児に以前より柔軟性が生まれた。子供の成長を自宅で見ながら仕事もできることが自分に合っており、そうした選択をできるようになったことがとても大きな変化であると思う。ただ、少しずつ出社の機会が増やされており、今後、コロナ以前の様態に戻ってしまうのではという懸念がある。せっかく働き方も多様化してそれぞれにあった働き方を選択するという機運が高まってきたところに従来の型に戻ってしまうのはもったいない。都には今後も働き方の多様化を推進するサポートを続けてもらいたいと思う。（30代・女性）
- 男性の育児参加が増えた。街中で子どもを連れて歩く父親が多くなった。（70代・女性）

#### 【通勤電車の混雑】

- 一時、テレワークが増え通勤電車が空いていたが最近に戻っている。（20代・女性）
- テレワークが進んだためか、通勤電車の混雑が緩和された気がする。（50代・男性）

#### 【体調不良による欠勤】

- 感染症という言葉が社会に浸透し、体調不良で仕事を休む事への意識や職場での仕組みが変わった。（40代・女性）
- 体調不良による欠勤に対する抵抗感が減った。（50代・男性）

# 都民意見アンケート

## 社会・経済に関すること

### 【人と人の繋がり】

- 人と人の繋がりが薄く広がった。それに伴う見えないストレスを抱える人の増加。また、それにプラスして活動量の低下もあり身体の不調を抱える人も増加。生きていく事に窮屈さを感じている人が増えたように感じる。(30代・男性)
- 飲み会などが雰囲気的にしにくくなった。(30代・男性)
- 人と人の直接的な対面でのつながりが希薄になった。感染症対策への意識が高まった。SNSなどの顔の見えないツールを通じた他者への攻撃的な態度が顕著になった人が増えた。(40代・男性)

### 【犯罪の増加・多様化】

- 闇バイトという名の未成年を利用した悪質な犯罪を良くニュースで見えるようになった(30代・男性)
- 犯罪に巻き込まれない、犯罪に加担しない、教育の一つとして早いうちから知っておくことができたらと思う。(30代・女性)
- ニュースをみていると、コロナ前と比べて凶悪な犯罪が増えたような気がする(50代・女性)

### 【家計等の状況】

- 物価上昇、円安、エネルギー資源の値上げ、上がらない給料、苦しくなる生活(20代・男性)
- 外食を控える人が増えた。経済を活性化し、消費を増やして欲しい。(30代・男性)
- 物価の急速な上昇により将来への不安が増え、子どもを持つことを諦めた(30代・女性)

## デジタル化等に関すること

### 【デジタル化】

- 色々なことがデジタル化した。でもその速度についていけない国民も多い。(40代・女性)
- デジタル化が進んで、デジタルが不得意な親や年上の人とコミュニケーションをとるようになった。(40代・男性)
- 自治体がやっとデジタル化に向けた(60代・男性)

### 【キャッシュレス】

- キャッシュレス対応が進んだ。現金をあまり持ち歩かなくて済むようになりました。(30代・女性)
- キャッシュレス決済対応の店が増えた(40代・男性)

### 【行政手続きのオンライン化】

- 行政手続きのオンライン化が高まり利便性が向上した。(30代・女性)
- 少しずつですが、オンラインにより行政手続きが便利になってきていると思います。(50代・男性)
- 行政手続きのオンライン化を進める様子はあるが、特に高齢者にはついていけない(70代・男性)